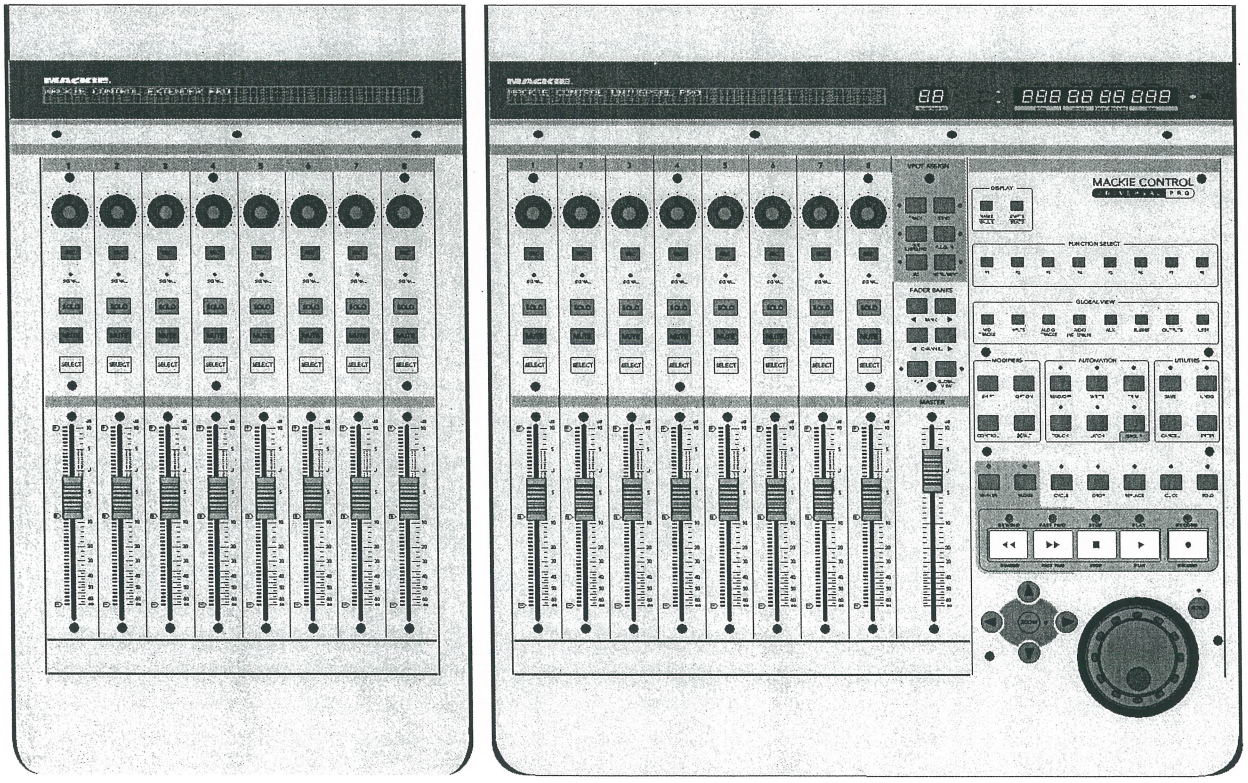
Mackie Control Universal Pro
Mackie Control Extender Pro
クイックスタートガイド



Eight Channel Master Control Surface
and Eight Channel Extender for Digital Audio Workstations

MACKIE®

注　意

感電の危険があります。
本体を開けないでください。

注意：電気事故を防ぐため
カバーを取り外さないでください。
内部にユーザーご自身で
修理可能な部分はありません。

このマークは、機器の内部に
絶縁されていない「危険な電圧」が
存在することを意味し、
感電の恐れがあることを警告しています。

取扱説明書のこのマークは、
操作上の注意や、メンテナンス方法
についての、重要な記述が
なされていることを示します。

安全上のご注意（重要）

1. 指示をお読みください。
2. マニュアルは大切に保管してください。
3. すべての警告にご注意ください。
4. 指示をお守りください。
5. 製品に水分を近付けないでください。
6. クリーニングには乾いた布をご使用ください。
7. 換気口が塞がれないようにしてください。マニュアルに指定された場所に設置してください。
8. 暖房器具やパワーアンプなど、熱源の周辺に本製品を設置しないでください。
9. グラウンドと極性の安全性を損ねるような処置はお控えください。極性プラグのピンは一方が他方より幅広になっています。グラウンドタイプのプラグでは2つのピンに加え、グラウンド用に第3のピンがあります。これは安全を目的としたものです。プラグがコンセントに適合しない場合、コンセントの交換なども含め電気技術者にご相談ください。
10. 電源コードが踏まれたり引っ張られたりすることのないように設置してください。特に、本体接続部分やコンセントに注意を払ってください。
11. 推奨アクセサリ以外のものを本機に取り付けないでください。
12. カート、スタンド、トライポッド、ブラケット、テーブルには付属のもの、もしくは推奨されたものをご使用ください。カートで運搬する際には、落下による損傷を防ぐため、カートと本機がしっかり固定されていることをご確認ください。
13. 落雷の発生時や長期間使用しない場合には電源コードを抜いてください。
14. 電源コードやプラグの破損、本機の落下（あるいは本機の上に何かを落としてしまった場合）、水分の混入（雨に晒された場合など）により、本機が正常に作動しなくなった場合には修理が必要となります。本機の修理に関してはすべて、資格を持つサービススタッフにご依頼ください。
15. 本機を水滴や飛沫から遠ざけてください。花瓶やグラスなど、液体の入っている容器を本機の上に置かないでください。
16. 本製品の電源装置として使用されているACアダプタが損傷することのないようご注意ください。
17. ロッカー式のAC電源スイッチは、リアパネルに位置しています。スイッチにすぐ手が届くような設置状態を保つようにしてください。
18. 本機は、カナダ通信局の電波妨害に関する規定に記されたデジタル機器からの電波ノイズ許容、Class Aあるいは Class B を上回りません。

FCC（アメリカ連邦通信委員会）規格との適合について

この機器はテスト検査の結果、デジタル機器Class Bに定められた許容量に適合することが確かめられています（FCC規格Part 15に準拠）。これらの許容量は、デジタル機器が商用に使用された場合に生じ得る電波干渉の危険性を未然に防ぐことを目的として定められたものです。本機は無線周波数のエネルギーを発生し、放射する可能性があります。このマニュアル通りに適切に設置、使用されない場合、無線通信が妨害される恐れがあります。居住地域内でのこの機器の使用に関しては注意が必要です。通信妨害が生じた場合、その対策費用はユーザに請求されることとなります。

CE

この機器はテスト検査の結果、以下のEU規準を満たしていることが確認されています：

* EN 55022 Radiated and Conducted Emissions
* EN 55024 Electromagnetic Immunity
* EN 61000-4-2 Electrostatic Discharge Immunity
* EN 61000-4-3 RF Electromagnetic Fields Immunity
* EN 61000-4-4 Electrical Fast Transient/Burst Immunity
* EN 60950/IEC 950 Electrical Safety Requirements

**警告：火災や感電の怖れがあります。
機器を雨や湿気に晒さないでください。**

Part No. SW0485 Rev. A Japanese 2007/03
© 2007 LOUD Technologies Inc. All Rights Reserved.
Printed in China.

はじめに

DAW（デジタルオーディオワークステーション）コントロールのソリューションにMackieをお選び頂いたことを深く感謝致します。Mackie Control Universal Pro（MCU Pro）、そしてMackie Control Extender Pro（MCE Pro）は、DAW環境に自然で親しみやすいアナログスタイルの操作感をもたらすコントローラーです。今日、市場に流通するコントロールサーフェスの中でも、最大限の機能とソフトウェア互換性を備え、USB接続にも対応しています。

ボタンやコントロール類に記された名称はEmagic Logicでの使用を想定したものです。サポートする他のDAW用にも、カスタムのレキサン樹脂オーバーレイが用意されています。いくつかはMCU Proに同梱されています。他のものは、日本国内ではMackie製品取扱店で入手可能です（サポートするDAWとそのオーバーレイに関しては以下の表をご参照ください）。

これらのオーバーレイはコントロールサーフェスの右手側にフィットし、使用DAWに合わせて各ボタンの機能を正しく示します。現在サポートされたすべてのDAWのリストはウェブサイト（www.mackie.com）でご覧頂けます。特定のアプリケーション用のオーバーレイのご注文も可能です。

Mackie Control Universal Proの付録DVD-ROMには、私達の開発した音楽制作ソフトウェア「Tracktion」が収録されています。本製品の最高のパートナーと言えるでしょう。とても使い勝手のよいPC/Mac対応のソフトウェアです。Tracktionのアップデートに関してもMackieのウェブサイト（www.mackie.com）で定期的にご確認ください。

同梱のオーバーレイ	オプションオーバーレイ
Pro Tools（HUI）	Adobe Audition
Steinberg（Cubase/Nuendo）	Propellerhead Reason
MOTU Digital Performer	Ableton Live
Mackie Tracktion	Sony Vegas
Cakewalk SONAR	Soundscape（Mackie Control）
	RML Labs Saw Studio

ソフトウェアのガイド

Mackieのウェブサイトでは、最新のマニュアルと対応アプリケーションの情報を掲載しています。
www.mackie.com/products/mcu/mcu_support.html

3つの操作モード

Mackie Control Universal Proは、アプリケーションにより、3つの異なるモードで操作します：

1. **Mackie Control モード**：Mackie Tracktion、Ableton Live、Cakewalk SONAR、Magix Samplitude/Sequoia、MOTU Digital Performer、Propellerhead Reason、RML Labs Saw Studio、Steinberg Nuendo/Cubase SX、Adobe Audition（以前のSyntrillium Cool Edit Pro）
2. **Logic Control モード**：Apple Logic（以前のEmagic Logic）
3. **HUI モード**：Digidesign Pro Tools（TDM、LE、M-Poweredバージョンを含む）

初めてMackie Control Universal Proを起動させるとディスプレイには操作モードの選択を促す以下のような文章が表示されます：

- *Press Ch. 1 V-Pot to select Mackie Control*
- *Press Ch. 4 V-Pot to select HUI*
- *Press Ch. 8 V-Pot to select Logic Control*

Mackie Controlモードの選択にはCh. 1のV-Potを、HUIモードの選択にはCh. 4のV-Potを、Logic Controlモードの選択にはCh. 8のV-Potを押してください。一度選択を行えば、以降Mackie Control Universal Proは自動的にそのモードで起動するようになります。

操作モードを変更するには：

1. Mackie Controlをオフにします。
2. Ch. 1とCh. 2のSELECTボタンを同時に押しながらMackie Controlを起動します。
3. ディスプレイには、上記同様、モードの選択を促す文章が表示されます。

インストール

Mackie Control Universal Pro（MCU Pro）をコンピュータに接続する方法は2つあります（USBとMIDI）：

ノート：MCU Proすべての MIDIポートが有効となるので、USBでの接続が推奨されます。MIDIケーブルを用いてMCU Proをコンピュータ（または外部MIDIインターフェース）に接続した場合、MCU Proの他の2つのMIDIポート（3と4）は無効となります。

USBでの接続

- USBケーブルを用いてMackie Control Universal Proとコンピュータを接続します（4ページの図「接続1:USB」を参照）。PC/Macintosh、どちらのプラットフォームでもUSB接続は「プラグ&プレイ」となります！ドライバのインストールは不要です。

MIDIでの接続

- 2本のMIDIケーブルを用いてMackie Control Universal ProとUSB MIDIインターフェースを接続します（INとOUT）。MCU ProのPORT 2端子をご使用ください。
- MIDIインターフェースとコンピュータをUSBケーブルで接続します（4ページの図「接続2：MIDI」を参照）。

どちらの接続方法でも操作手順は以下の通りです：

- 外部パワーサプライの片側をMCU Proに接続します。もう一方は90 V–264 VのAC電源（50–60 Hz）に接続してください。
- MCU ProのPOWERスイッチをオンにします。
- お使いのDAWソフトウェアを起動します。

- ソフトウェアでコンソールまたはサーフェスを管理するウインドウを開きます。
- MIDI デバイスセットアップのセクションで Mackie Control を選択します。
- 上記の手続きでソフトウェアのセットアップ初期設定に Mackie Control が設定されると、以降、ユニット本体は自動的に認識されるようになります。
- Mackie Control Universal Pro と Mackie Control Extender Pro ユニットの組み合わせは、「コントロールサーフェスグループ」として単一のラージコンソールのように機能することができます。
- MCU のサポートセクション（www.mackie.com/products/mcu/mcu_support）もご覧ください。いくつかのアプリケーションで MCU Pro を使用する方法について説明しています。

1 つ、または複数の Mackie Control Extender Pro（MCE Pro）を接続する方法は以下のようになります：

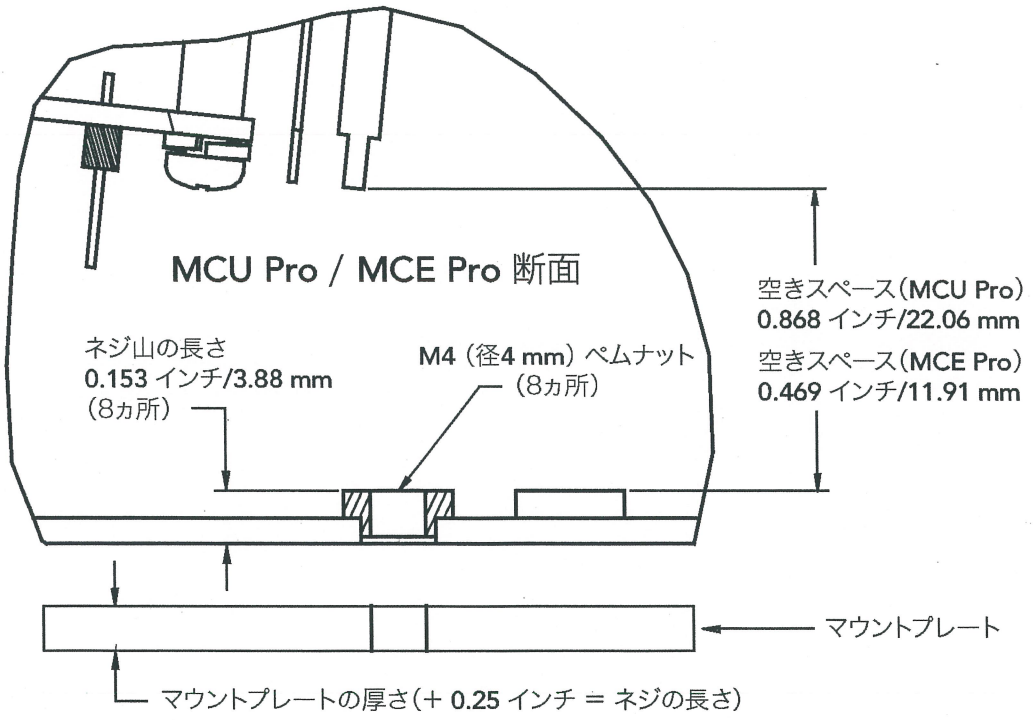
1. MCU Pro を USB でコンピュータに接続している場合：MCU Pro には 3 組の MIDI 入出力コネクタが有効です。ここに MCE Pro ユニットを接続することができます。MIDI OUT 端子は相手のデバイスの MIDI IN 端子に（MIDI IN は MIDI OUT に）接続してください。
2. MCU Pro を MIDI でコンピュータに接続している場合：MCE Pro を外部 USB MIDI インターフェースに接続しなければなりません（MCU Pro の PORT 3 と PORT 4 コネクタは機能しません）。MCE Pro の MIDI OUT を MIDI インターフェースの MIDI IN 端子に、MCE Pro の MIDI IN を MIDI インターフェースの MIDI OUT 端子に接続します。

マウント（VESA 規格）

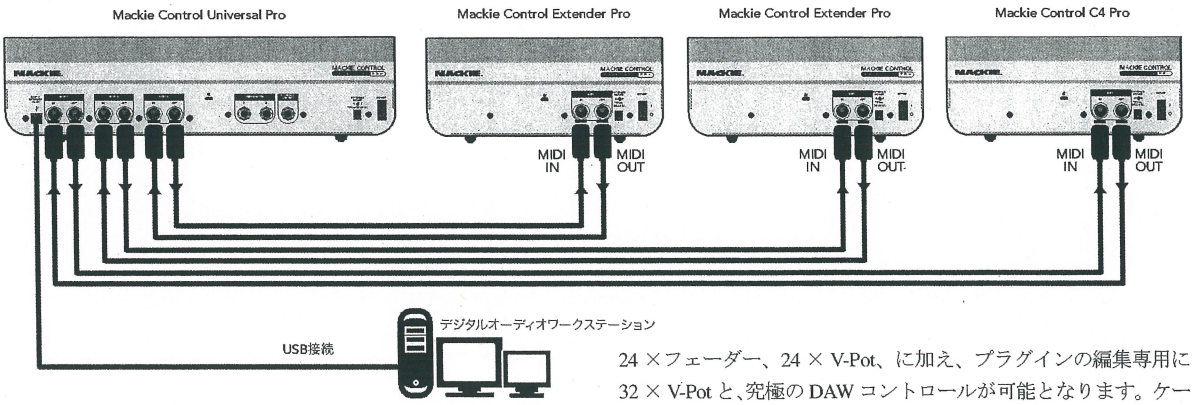
底面パネルに用意された穴に VESA 規格製品（75 mm または 100 mm 間隔のパターンを使用）を装着して、Mackie Control Universal Pro/Mackie Control Extender Pro をウォールマウント（壁に設置）またはアームマウントすることができます。これらの穴は M4（径 4 mm）のネジに合うものですが、ネジの長さはマウントプレートの厚さにより異なります。ネジの長さは、マウントプレートの厚さに、MCU Pro 底面のペムナット（下図参照）を固定するのに必要な 0.25 インチ（6.35 ミリ）を加えた値で計算されます。

MCU Pro の重量は 11.8 ポンド（5.4 kg）、MCE Pro の重量は 6.9 ポンド（3.1 kg）です。マウントのアーム / プレートには、その重量を支えることのできるものをご使用ください。

VESA 規格製品の多くはビデオモニターのマウント用であり、マウントプレートが作業デスクと垂直になるようになっています。MCU Pro をデスクと垂直にマウントするのは望まれないでしょうから、作業スペースに合わせ、VESA マウントを調整できるものをお選びください。

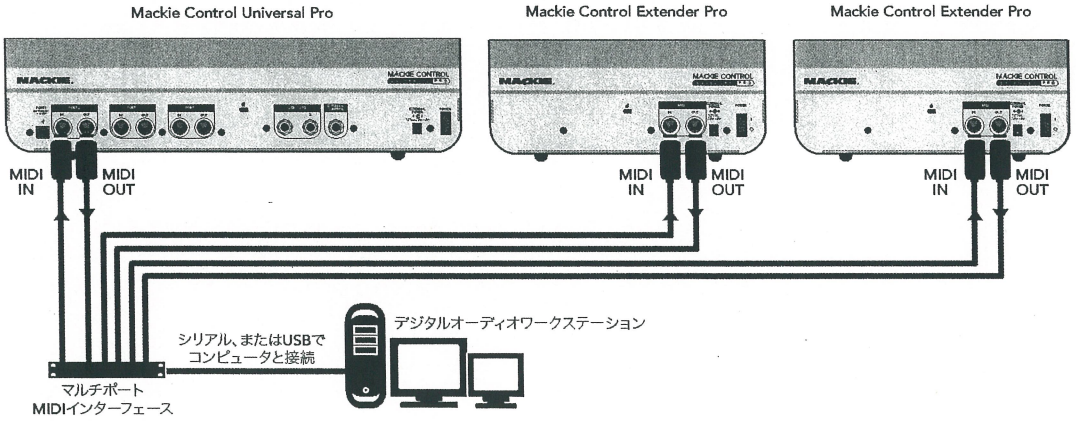


接続ダイアグラム

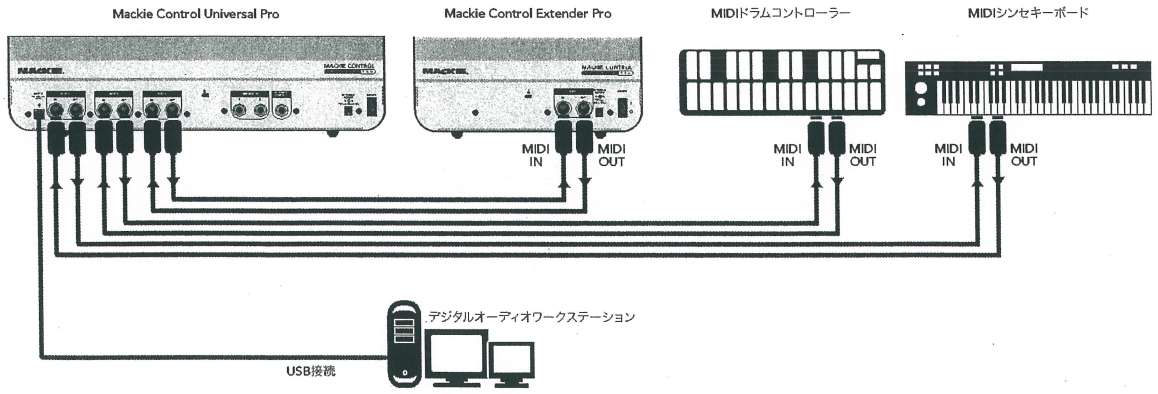


接続 1：USB

24 ×フェーダー、24 × V-Pot、に加え、プラグインの編集専用に 32 × V-Pot と、究極の DAW コントロールが可能となります。ケーブル類が煩雑にならないように、Mackie Control Extender と C4 を Mackie Control Universal に接続する MIDI ケーブルには、短いものを使用するとよいでしょう。



接続 2：MIDI



接続 3：複数の MIDI デバイス

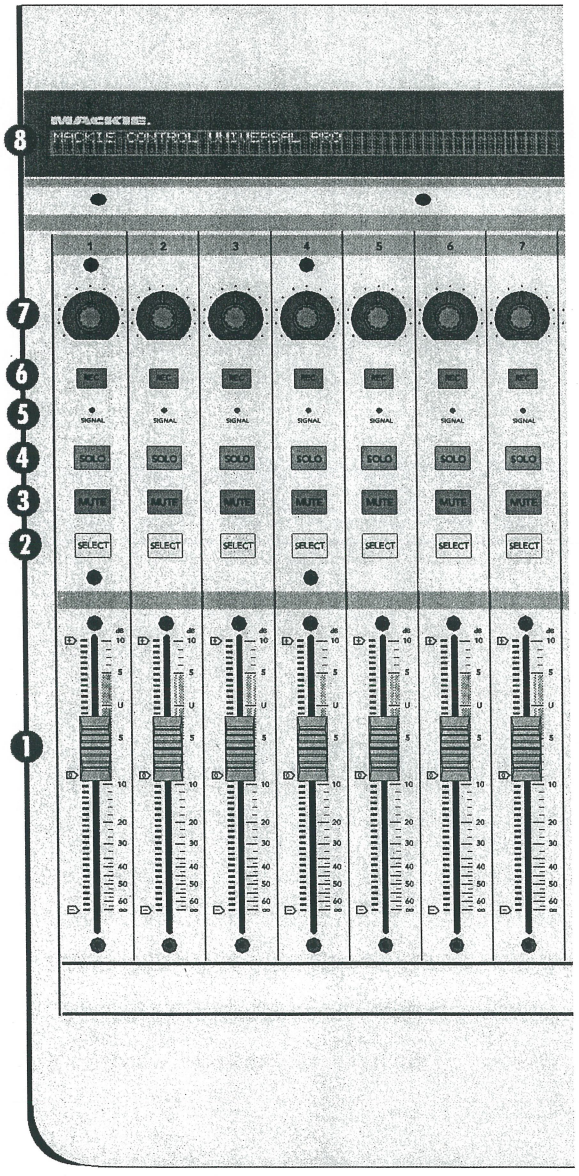
Mackie Control Universal Pro の操作

MCU Pro のノブやボタンの機能は、お使いのソフトウェアアプリケーションによって異なりますが、この章では、コントロールサーフェスの概観と一般的機能について説明することにします。

チャンネルストリップ

1. タッチセンシティブフェーダー

100 mm、光学式、タッチセンシティブ、モーター駆動のフェーダーです。チャンネルのレベルやAuxリターン、MIDI トラック、マスターフェーダーレベルなどをコントロールします。これらの 8 本のフェーダーは、コンピュータ画面で現在選択されているバンクの状況に追随して動きます。



2. SELECT

チャンネル単位での編集、または何かをアサインする際に、対応するチャンネルを選択するボタンです。

3. MUTE

対応するチャンネルの出力シグナルをオフにするボタンです。

4. SOLO

SOLO ボタンを押すと、そのチャンネルの出力シグナルが DAW アプリケーションのミックスバスでソロ（単独）となります。

ノート：1つ、または複数のSOLOボタンがアクティブである時、タイムディスプレイの横のRUDE SOLO LEDが点灯し、いくつかのチャンネルがソロ状態であることを知らせます。

5. SIGNAL

対応するチャンネルにシグナルが存在することを点灯で示す LED です。

6. REC

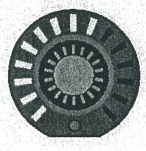
対応するトラックをレコーディング可能（または不可能）に設定するボタンです。

7. V-Pot

Mackie Control の V-Pot は、プッシュボタンと回転ノブという二重の働きをします。V-Pot を「押す」と、操作モードを切り替えたり、チャンネルストリップの上に位置するディスプレイの表示を切り替えたりすることができます。

V-Pot を「回す」と、アサインされた機能によりますが、パンを振ったり、センドレベルやプラグインのパラメータなどを調整することができます。

V-Pot の回りを囲む LED の点灯により、V-Pot ノブの値（すなわち対応するパラメータの値）が示されます。コンピュータのモニターを確認する必要はありません。



8. ディスプレイストリップ

チャンネルストリップ群の上に位置する LCD には、トラックネームやプラグイン、その他の情報が表示されます（チャンネルストリップの操作モードにより表示は異なります）。

マスターセクション

9. V-POT ASSIGN

V-Pot に特定の機能（パン、Aux センド、EQ、プラグインエフェクト、トラックレベルなど）をアサインする 6 つのボタンです。

10. BANK、CHANNEL

左または右の BANK ボタンを押すと、コントロールの対象となるチャンネルのグループは、8 チャンネル左または右にジャンプします。

- いくつかの Mackie Control Extender を使用している場合、BANK ボタンで移動する距離は 8 ×デバイスの台数となります。例えば、Mackie Control に加えて 2 台の Mackie Control Extender を使用している場合、BANK ボタンにより一度にジャンプする距離は、8 × 3 = 24 チャンネルとなります。
- 左または右の CHANNEL ボタンを押すと、コントロールの対象となるチャンネルは、左または右に 1 つだけずれます。

11. FUNCTION SELECT セクション

これらのボタンの機能はお使いのアプリケーションによって異なります。ご使用の DAW アプリケーションのオーバーレイをこのセクションの上に載せると、各ボタンの機能が正しく示されます。Mackie Control が DAW アプリケーションでどのように機能するかについては、DAW のマニュアルをご参照ください。

12. トランスポートセクション

トランスポートのコントロールです。各ボタンには標準的な機能が与えられています。巻き戻し、早送り、停止、再生、録音のボタンとなっています。

13. ジョグ / シャトルホイール

外側のホイールを使う場合、ボタンでジョグ機能 / シャトル機能を切り替えます。内側のホイールは DAW アプリケーションでのオーディオ編集に使用します。

14. ZOOM、矢印ボタン

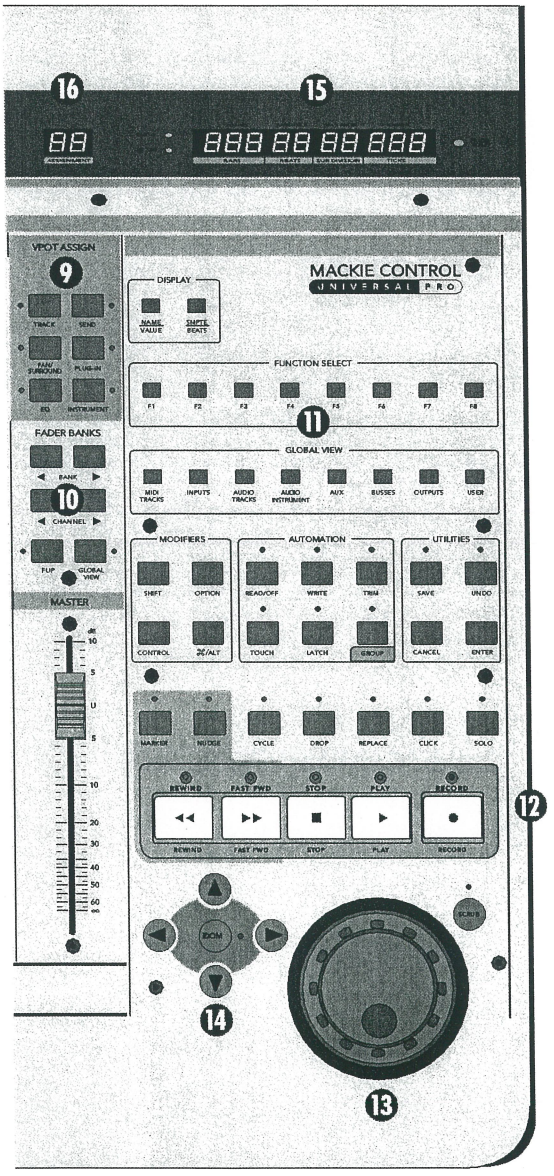
4 つの矢印ボタンと ZOOM ボタンは、DAW アプリケーションのグラフィックエディタをナビゲートするために用います。

15. タイムディスプレイ

作業中のプロジェクトにおける現在の位置を、SMPTE または BBT フォーマットで表示します。

16. モード LED

チャンネルストリップの現在の操作モードを示します。



リアパネル

17. USB PORT

MCU Pro とホストコンピュータを USB で接続するためのポートです。付属の USB ケーブルを用いて、このポートとコンピュータの USB ポートを接続してください。

ノート：MCU Pro とコンピュータを USB で接続している場合、コンピュータと DAW アプリケーションは MCU Pro を 4 イン 4 アウトの MIDI デバイスとして認識します。DAW アプリケーションにおいては、ポート 1 に MCU Pro コントロールサーフェスが表示されます。MCU Pro の PORT 2-4 は、DAW のそれぞれポート 2-4 に対応します。

18. PORT 2

標準的 5 ピンの MIDI 入出力コネクタです。MIDI デバイスの MIDI IN/OUT ポートに接続します（IN は OUT に、OUT は IN に）。DAW アプリケーションにおいて、このポートは “MIDI ポート 2” のように表示されます。

19. PORT 3

標準的 5 ピンの MIDI 入出力コネクタです。MIDI デバイスの MIDI IN/OUT ポートに接続します（IN は OUT に、OUT は IN に）。DAW アプリケーションにおいて、このポートは “MIDI ポート 3” のように表示されます。

20. PORT 4

標準的 5 ピンの MIDI 入出力コネクタです。MIDI デバイスの MIDI IN/OUT ポートに接続します（IN は OUT に、OUT は IN に）。DAW アプリケーションにおいて、このポートは “MIDI ポート 4” のように表示されます。

21. USER SWITCH 1、2

一時的（押している間だけ切り替わるタイプの）フットスイッチを接続する端子です。再生 / 停止、録音 / 録音待機などの切り替えに使用できます。多くの場合、これらの機能は DAW で任意に設定することが可能です。

22. EXTERNAL CONTROL

ここには各種のコントロールを接続できます。例えば、可変抵抗器を接続してマスターボリューム（DAW でアサインします）をコントロールする、などが可能です。

23. 電源コネクタ

MCU Pro に電源を供給するため、付属の外部 AC パワーサプライをここに接続します。

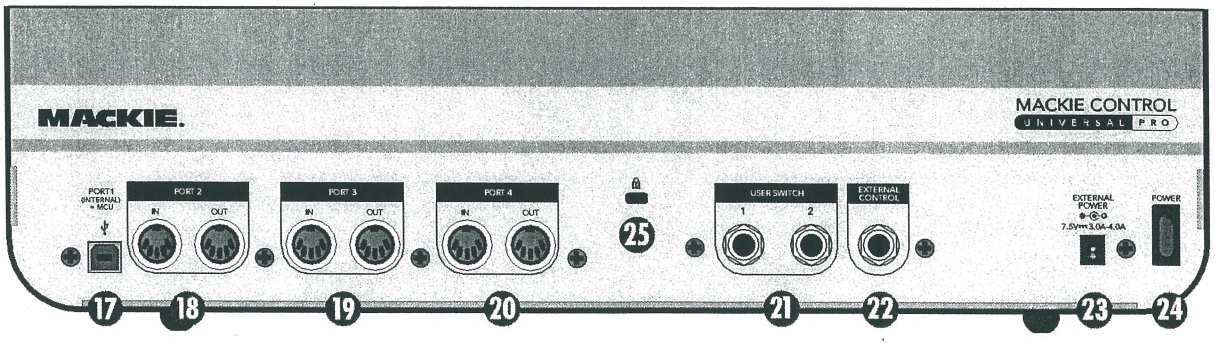
MCU Pro に付属の AC パワーサプライは「ユニバーサル仕様」となっています。90 VAC から 264 VAC までの AC 電源（50–60 Hz）に接続することが可能です。

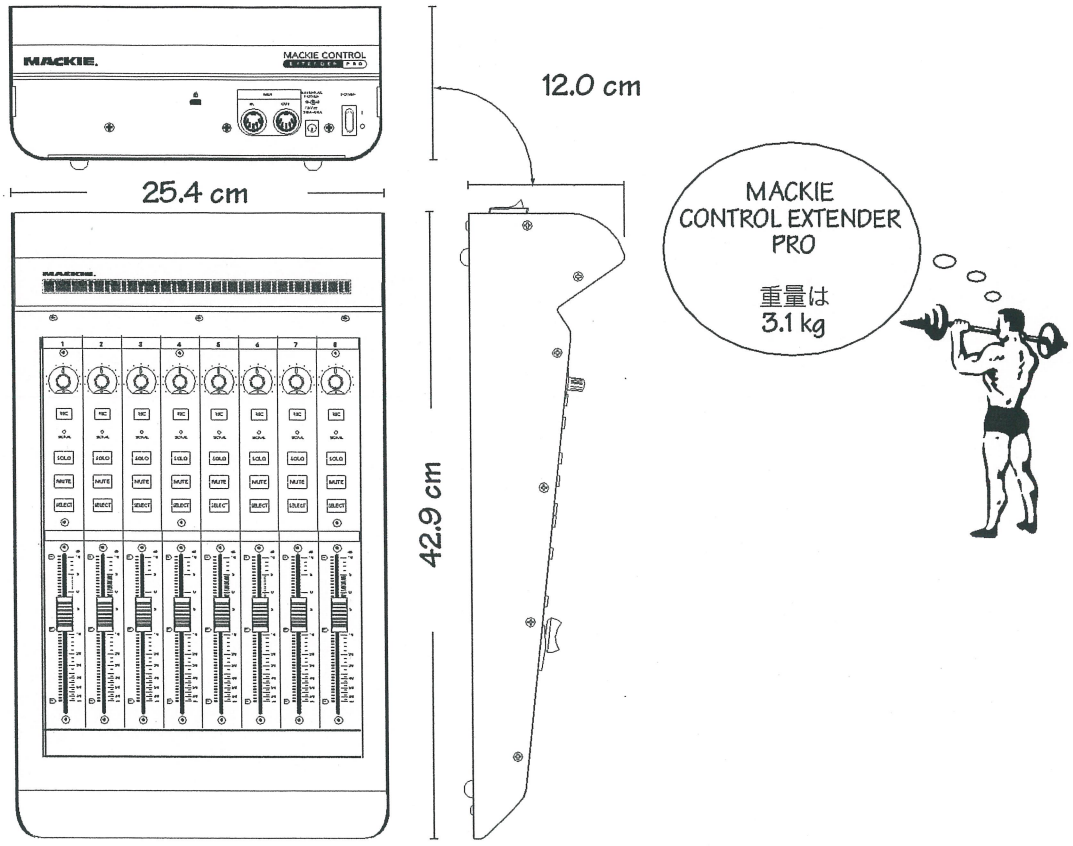
24. POWER スイッチ

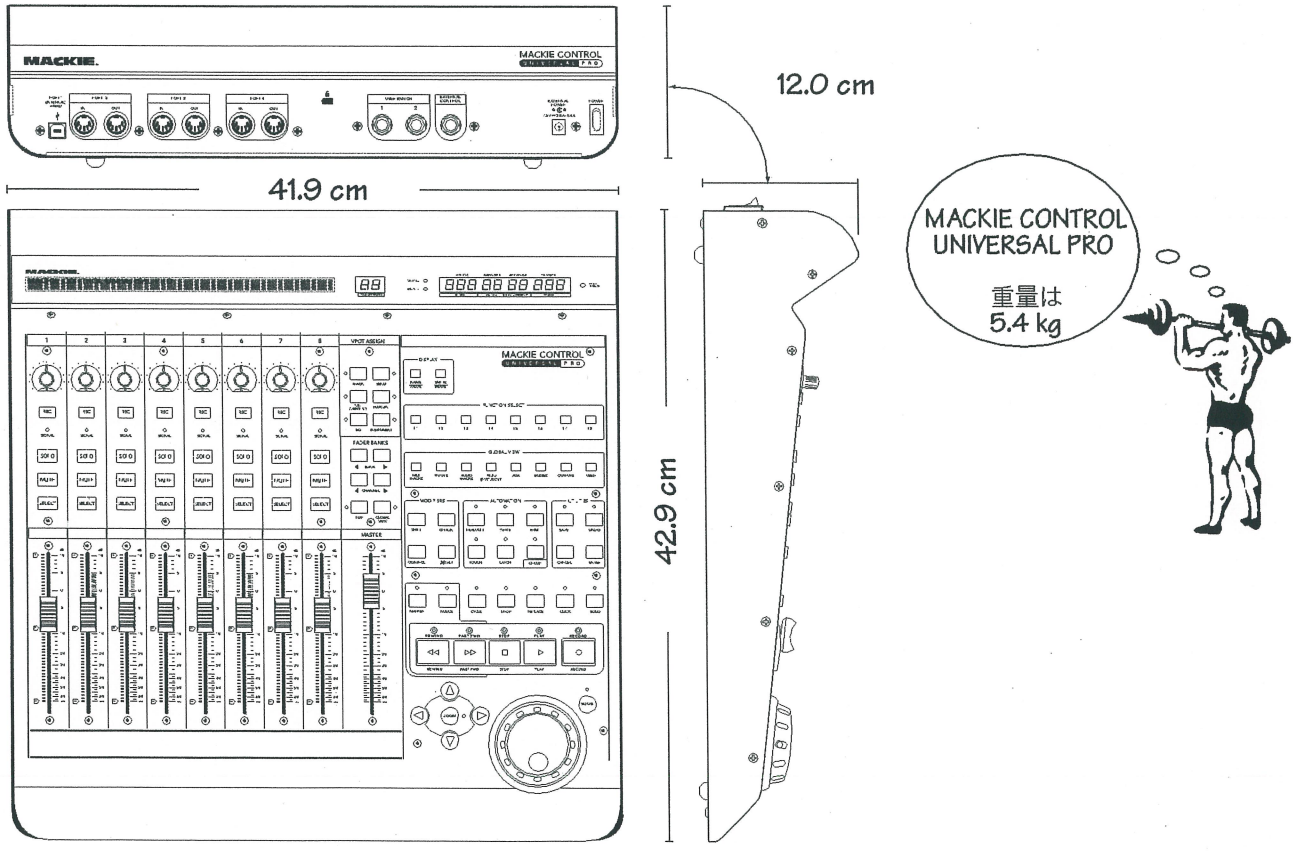
MCU Pro をオン / オフするスイッチです。

25. Kensington ロックスロット

盗難防止のため、MCU Pro と MCE Pro にはセキュリティースロットが備えてあります。一般的な Kensington セキュリティーロックに適合するサイズです。各種モデルが販売されています。詳しくは、www.kensington.com でご確認ください。




MACKIE
MACKIE CONTROL
12.0 cm
25.4 cm
42.9 cm
MACKIE
CONTROL EXTENDER
PRO
重量は
3.1 kg


MACKIE
MACKIE CONTROL
12.0 cm
41.9 cm
42.9 cm
MACKIE CONTROL
UNIVERSAL PRO
重量は
5.4 kg